

安全データシート

SAFETY DATA SHEET

SDS ID 番号 : 000002-01

Never-Seez Pure Nickel Special Grade
NSNA-16 Aerosol

Bostik Inc. (製造者)

製造者全面改訂 2002 年 08 月 23 日

製造者部分改訂 2021 年 9 月 08 日

輸入者部分改訂 2026 年 2 月 24 日

安全データシート(SDS)は、当該品の製造元である米国 Bostik 社製作 SDS(英文)を弊社にて翻訳したものである。Bostik 社 SDS は米国および欧州の SDS 作成指針に基づいて作成されている。〈 〉部分は本邦に於ける最新 SDS 作成指針 (JISZ 7253) に基づき弊社が必要と判断し追加記載したものである。尚、2023 年 4 月からの新化管法に対応しております。

SECTION 1 - 製品 及び 会社情報

製品名 : NEVER-SEEZ PURE NICKEL SPECIAL AEROSOL
(ネバーシーズ ピュアニッケルスペシャル エアゾール)

化学族 : 焼付き防止・潤滑剤

当該 SDS 対象商品 : NSNA-16 (日本充填品)

製造会社 : Bostik Inc. 米国 マサチューセッツ州

輸入者 : 極東貿易株式会社 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル 7 階
Tel 080-5896-5702

SECTION 2 - <危険有害性の要約>

外観 : エアロゾル

物理的状态 : 圧縮液化ガス

臭気 : 石油

2.1. 物質または混合物の分類

皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2

皮膚感作性 : 区分 1

発がん性 : 区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2A

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 3

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分 1

吸引性呼吸器有害性 : 区分 1

他に分類されない危険有害性 (HNOC) 該当なし

2.2. ラベル要素

危険有害性情報

皮膚刺激を引き起こす

重篤な眼刺激を引き起こす

眠気またはめまいを引き起こすおそれ

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険となるおそれがある

極めて可燃性のエアゾール

加圧ガスを含有しており、加熱すると爆発するおそれがある

アレルギー性皮膚反応を引き起こす恐れ

発がん性の疑い

単回、反復暴露により臓器の障害を引き起こす恐れあり。



GHSラベル要素絵表示又はシンボル

健康有害性

注意喚起語 : 危険

予防

取り扱った後は、顔、手、および露出した皮膚をよく洗ってください。

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けてください。

屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。

熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざけてください。禁煙

裸火やその他の発火源に向けてスプレーしないでください。

加圧容器：使用後も、穴を開けたり、燃やしたりしないでください。

保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用してください。

対応

眼に入った場合：数分間、水で慎重に洗い流してください。コンタクトレンズを装着して
いて、容易に外せる場合は外してください。洗い流し続けてください。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けてください。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗い流してください。

皮膚刺激が発生した場合：医師の診察/手当てを受けてください。

汚染された衣類は脱ぎ、再使用する前に洗濯してください。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

気分が悪い場合は、中毒情報センターまたは医師に連絡してください。

飲み込んだ場合：直ちに中毒情報センターまたは医師に連絡してください。

吐かせないでください。

保管

施錠して保管してください。

換気の良い場所に保管してください。容器はしっかりと閉めてください。

直射日光を避けてください。50°C/122°Fを超える温度にさらさないでください。

直射日光を避けてください。

廃棄上

内容物/容器は、認可された廃棄物処理施設に廃棄してください。

2.3.その他の情報

換気が不十分な場合、または使用中に爆発性/引火性の高い混合物が発生する可能性があります。

SECTION 3 - 組成、成分情報 <対象成分 及び 被爆限界情報>

<単一製品・混合物の区分> : 混合物
<化学名又は一般名> : エアゾール潤滑剤

| 成分名 | CAS 番号 | 重量% |
|----------|-----------|-------|
| ヘプタン | 142-82-5 | 15-40 |
| アセトン | 67-64-1 | 7-15 |
| ニッケル粉末 | 7440-02-0 | 10-30 |
| <グラファイト> | 7782-42-5 | 10-30 |

危険有害成分

PRTR 法 ニッケル（第一種指定化学物質 政令番号 308）

労働安全衛生法第 57 条の 2 通知対象物 ニッケル、ヘプタン、ブタン

毒物劇物取締法 対象物はなし

SECTION 4 - 応急処置

4.1. 応急措置の説明

一般的なアドバイス：この安全データシートを医師に提示してください。直ちに医師の診察を受けてください。

吸入した場合 新鮮な空気のある場所へ移動してください。症状が続く場合は、医師に連絡してください。呼吸が困難な場合は、（訓練を受けた人が）酸素を投与してください。呼吸が停止した場合は、人工呼吸器を使用してください。直ちに医師の診察を受けてください。皮膚との直接接触を避けてください。口対口人工呼吸を行うには保護具を使用してください。直ちに医師の診察を受けてください。肺への誤飲は重度の肺損傷を引き起こす可能性があります。遅発性肺水腫が起こることがあります。

眼に入った場合 直ちに多量の水で、まぶたの裏側も含めて少なくとも 15 分間洗い流してください。

コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外してください。洗い流し続けてください。洗い流している間は、目を大きく開けてください。患部をこすらないでください。刺激が生じ、それが続く場合は、医師の診察を受けてください。

皮膚に付着した場合 直ちに石鹼と多量の水で少なくとも 15 分間洗い流してください。液化ガスに接触した場合は、凍結した部分をぬるま湯で溶かしてください。刺激が生じ、それが続く場合は、医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合：口をすすいでください。意識のない人には口から何も与えないでください。無理に吐かせないでください。嘔吐が自然に起こった場合は、誤嚥を防ぐため、頭を腰より下に保ちます。直ちに医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合の誤嚥の危険性 - 肺に入り、損傷を引き起こす可能性があります。

応急処置者の自己保護：すべての発火源を取り除きます。医療従事者が関係物質を認識し、自身の保護と汚染の拡大防止のための予防措置を講じていることを確認してください。

皮膚との直接接触を避けてください。口対口人工呼吸を行う際は、保護マスクを使用

してください。必要に応じて個人用保護具を使用してください。皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。

4.2. 急性および遅発性の最も重要な症状と影響

症状：呼吸困難。咳および/または喘鳴。めまい。眼の発赤および流涙を引き起こす可能性があります。灼熱感。高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐などの症状を引き起こす可能性があります。

暴露の影響：情報なし。

4.3. 緊急の医師の診察および特別な治療の必要性

医師への注意：誤嚥の危険性があるため、追加の毒性物質の存在によってリスクが正当化されない限り、嘔吐または胃洗浄は行わないでください。

SECTION 5 - 火災時の処置

5.1. 消火剤

適切な消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素 (CO₂)、水噴霧

大規模火災：注意：消火活動において水噴霧の使用は効果的でない場合があります。

不適切な消火剤：漏洩が止まらない限り、漏洩中のガス火災を消火しないでください。

5.2. 物質または混合物に起因する特有の危険性

化学物質に起因する特有の危険性

発火の危険性。製品および空の容器を熱源および発火源から遠ざけてください。

火災が発生した場合は、水噴霧でタンクを冷却してください。シリンダーは極度の高温下で破裂する恐れがあります。

損傷したシリンダーは専門家のみが取り扱ってください。容器は加熱すると爆発する恐れがあります。破裂したシリンダーはロケット状に噴出する恐れがあります。火災の残留物および汚染された消火水は、地方自治体の規制に従って処分してください。

危険な燃焼生成物：一酸化炭素。二酸化炭素。炭化水素。酸化亜鉛。酸化銅。硫酸酸化物。

爆発データ

機械的衝撃に対する感受性：あり。

静電気放電に対する感受性：あり。

5.3. 消火をする方へのアドバイス

特別な保護具および

消火をする方のための注意事項

あらゆる火災の場合と同様に、自給式呼吸器 (MSHA/NIOSH 認定または同等のもの) および完全な保護具を着用してください。

SECTION 6 - 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 内容物は加圧されています。必要に応じて個人用保護具を使用してください。詳細はセクション 8 を参照してください。

人員を安全な場所に避難させてください。すべての発火源を排除してください

(付近での喫煙、フレア、火花、炎の禁止)。静電気放電に対する予防措置を講じてください。流出/漏出から人々を遠ざけ、風上に配置してください。十分な換気を確保してください。蒸気やミストの吸入を避けてください。皮膚、目、または衣類との接触を避けてください。取り扱った後は十分に洗ってください。空の容器は火災および爆発の危険性があります。容器を切断、穴あけ、または溶接しないでください。

その他の情報 区域を換気してください。セクション7および8に記載されている保護措置を参照してください。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 安全が確保できる場合は、さらなる漏洩または流出を防止してください。環境への放出を避けてください。

製品が排水溝に流入するのを防ぎましょう。下水道、地面、または水域に流出させないでください。生態学的情報については、セクション12を参照してください。

6.3. 封じ込めおよび清掃の方法と資材

封じ込め方法：リスクなく実施できる場合は、漏洩を止めてください。蒸気抑制泡消火剤を使用して蒸気の量を減らすことができます。流出水を集めるため、流出地点よりかなり手前に堤防を築いてください。水溝、下水道、溝、水路に流入させないでください。

浄化方法：必要に応じて個人用保護具を使用してください。静電気放電に対する予防措置を講じてください。堰き止めてください。清潔な非発火性工具を使用して、不活性で湿った不燃性物質で吸収し、後で廃棄するために蓋をゆるく閉めたプラスチック容器に入れてください。汚染された表面は十分に洗浄してください。

他のセクションへの参照：詳細についてはセクション8を参照してください。詳細についてはセクション13を参照してください。

SECTION 7 - 取り扱い及び管理上の注意

7.1. 安全な取り扱いのための注意事項

安全な取り扱いに関するアドバイス：個人用保護具を使用してください。適切な労働衛生および安全基準に従って取り扱ってください。本製品を使用する際は、飲食または喫煙をしないでください。熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざけてください。禁煙。裸火またはその他の発火源に向けてスプレーしないでください。

防火工具および防爆機器を使用してください。静電気放電（有機蒸気の発火を引き起こす可能性があります）を回避するために必要な措置を講じてください。スプリンクラーを備えた場所に保管してください。内容物は加圧されています。缶に穴を開けたり、焼却したりしないでください。蒸気またはミストの吸入を避けてください。製品は密閉系でのみ取り扱うか、適切な排気換気装置を設置してください。換気が不十分な場合は、適切な呼吸用保護具を着用してください。皮膚、目、または衣類との接触を避けてください。取り扱った後は、十分に洗ってください。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する前に洗ってください。空の容器は火災および爆発の危険性があります。容器を切断、穴あけ、または溶接しないでください。

7.2. 安全な保管条件

保管条件 容器は乾燥した涼しく換気の良い場所にしっかりと閉めてください。元の容器でのみ保管してください。熱、火花、炎、その他の発火源（パイロットランプ、電動モーター、静電気など）から遠ざけてください。直射日光を避けてください。可燃性物質の近くに保管しないでください。スプリンクラーが設置された場所に保管してください。各国の規制に従って保管してください。地方自治体の規制に従って保管してください。施錠して保管してください。子供の手の届かないところに保管してください。他の物質から離して保管してください。

7.3 他のセクションの参照：

セクション8：暴露防止／保護措置

セクション12：環境影響情報を参照してください。

SECTION 8 - 暴露管理及び保護措置

8.1. 管理パラメータ

曝露限界

| 成分 | ACGIH | OSHA PEL | NIOSH |
|------|-----------------|---|---|
| ヘプタン | STEL500ppm | TWA 500ppm | IDLH:750ppm |
| | TWA 400PPM | TWA 2000mg/m3 | Ceiling:440ppm 15min Ceiling 1800mg/m3 15min TWA: 85ppm.TWA: 590mg/m3 |
| アセトン | STEL 500ppm | TWA: 1000ppm | IDLH: 2500ppm |
| | TWA 250ppm | TWA 2400mg/m3 | TWA: 250ppm |
| | | (vacated)TWA: 750ppm | TWA 590mg/m3 |
| | | (vacated) TWA: 1800mg/m3 (vacated) STEL: 2400mg/m3 アセトンの STEL は セルロースアセテート繊維産業には適用されません。 その他の全ての産業には適用されます (vacated) STEL: 1000ppm | |
| 黒鉛 | 2mg/m3(繊維を除くもの) | 1,250mg/m3 | 15mg/m3 合成粉末 |
| | | 2.5mg/m3 呼吸性粉塵 | 5mg/m3 呼吸性留分粉末 |
| ニッケル | 1.5mg/m3 | 10mg/m3 | 1mg/m3 |
| | | TWA 0.015mg/m3 | |

8.2. 暴露管理

適切な工学的管理：シャワー、洗眼装置、換気システム

個人用保護具などの個人用保護具

眼／顔面の保護具 密閉性の高い安全ゴーグル。眼との接触を避けること。

手の保護具 適切な手袋を着用すること。不浸透性手袋。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護服を着用すること。長袖の衣服。耐薬品性エプロン。

静電気防止ブーツ

呼吸器の保護具 暴露限界値を超える場合、または刺激を感じた場合は、NIOSH/MSHA 承認の呼吸器保護具を着用すること。

空気中の汚染物質濃度が高い場合は、陽圧式送気呼吸器が必要となる場合がある。呼吸器保護具は、現行の現地規制に従って装着してください。

一般的な衛生上の考慮事項：適切な手袋と眼／顔面保護具を着用してください。適切な労働衛生および安全対策に従って取り扱ってください。

本製品を使用する際は、飲食または喫煙をしないでください。蒸気またはミストの吸入を避けてください。皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。休憩前および製品の取り扱い直後に手を洗ってください。汚染された作業衣は職場から持ち出さないでください。機器、作業場、および衣類の定期的な清掃を推奨します。

SECTION 9 - 物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態：圧縮液化ガス

外観：エアロゾル

SECTION 11 - 毒性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

吸入：当該物質または混合物に関する具体的な試験データはありません。内容物を意図的に濃縮して吸入するなど、意図的な誤用は、有害または致命的となる可能性があります。呼吸器への刺激を引き起こす可能性があります。眠気やめまいを引き起こす可能性があります。肺への吸引は、重度の肺損傷を引き起こす可能性があります。肺水腫を引き起こす可能性があります。肺水腫は、致命的となる可能性があります。眼への接触：当該物質または混合物に関する具体的な試験データはありません。重度の眼刺激を引き起こします。(成分に基づく)。発赤、かゆみ、および疼痛を引き起こす可能性があります。

皮膚への接触：当該物質または混合物に関する具体的な試験データはありません。単回、反復暴露は、皮膚の乾燥またはひび割れを引き起こす可能性があります。皮膚刺激を引き起こします。(成分に基づく)。

経口摂取：当該物質または混合物に関する具体的な試験データはありません。摂取すると、胃腸の炎症、吐き気、嘔吐、下痢を引き起こす可能性があります。飲み込んだ場合、肺に損傷を与える可能性があります。飲み込んで気道に入ると、致命的となる可能性があります。飲み込んだ場合、誤嚥の可能性があります。誤嚥により、肺水腫や肺炎を引き起こす可能性があります。

物理的、化学的、および毒物学的特性に関連する症状

症状：呼吸困難、咳、喘鳴、めまい、発赤。目の充血や流涙を引き起こす可能性があります。高濃度の蒸気を吸入すると、頭痛、めまい、疲労感、吐き気、嘔吐などの症状を引き起こす可能性があります。

急性毒性

毒性の数値的指標

以下の値は GHS 文書の第 3.1 章に基づいて算出されています

ATEmix (経口) 12,111.90 mg/kg
 ATEmix (経皮) 12,025.00 mg/kg
 ATEmix (吸入ガス) >20000 ppm
 ATEmix (吸入粉塵/ミスト) >5 mg/l
 ATEmix (吸入蒸気) >20 mg/l

毒性

| 成分 | CAS No. | LD50,経口 | LD50, 経皮 | LC50, 吸入 |
|--------|-----------|-------------|------------|---------------|
| ヘプタン | 142-82-5 | 3000mg/kg | >5000mg/kg | =103G/m3 4h |
| アセトン | 67-64-1 | >15800mg/kg | =5800mg/kg | =79mg/l 4h |
| ニッケル粉末 | 7440-02-0 | >9000mg/kg | — | >10.2 mg/l 1h |
| 黒鉛 | 7782-42-5 | — | — | >2000mg/m3 4h |

短期および長期暴露による遅延性、即時性、および慢性影響

皮膚腐食性/刺激性：成分に関する入手可能なデータに基づいて分類。皮膚刺激を引き起こす。

重篤な眼損傷/眼刺激性：成分に関する入手可能なデータに基づいて分類。重篤な眼刺激を引き起こす。

アセトン (67-64-1)

方法 種 暴露経路 有効用量 暴露時間 結果

OECD 試験番号 405 : 急性

眼刺激性/腐食性

ウサギ眼刺激性物質

呼吸器感作性または皮膚感作性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖細胞変異原性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

特定標的臓器毒性 (STOT) - 単回暴露 眠気またはめまいを引き起こす可能性がある。呼吸器刺激を引き起こす可能性がある。

特定標的臓器毒性 (STOT) - 反復暴露 眠気またはめまいを引き起こす可能性がある。

呼吸器刺激を引き起こす可能性がある

物理的、化学的、及び毒性学的特性に関連する症状：かゆみ、発疹、じんましん

標的臓器への影響 肝臓、腎臓、呼吸器系、眼、皮膚、中枢神経系、中枢血管系

(CVS) 吸引性呼吸器有害性：飲み込んで気道に入ると致命的となることがあります。

発がん性：既知または疑われる発がん性物質を含有しています。成分に関する入手可能なデータに基づき分類しています。

以下の表は各機関が成分を発ガン性物質としてリストしている k どうかを示しています。

| 化学名 | ACGIH | IARC | NTP | OSHA |
|-----|-------|------|-----|------|
|-----|-------|------|-----|------|

ニッケル

| | | | | |
|-----------|---|---------|-----------|---|
| 7440-02-0 | - | グループ 2B | 合理的に予測される | X |
|-----------|---|---------|-----------|---|

IARC (国際がん研究機関)

グループ 2B 一人に対する発ガン性があると合理的に予測される。

NTP (米国国家毒性計画) 人に対する発ガン性があると合理的に予測される。

OSHA (米国労働省労働安全衛生局)

X-存在する

合理的に予測される-

その他の有害作用：情報はありません。

相互作用：情報はありません。

SECTION 12 - 環境影響情報

12.1 毒性

生態毒性

| | 藻 | 魚 | 微生物 | 甲殻 |
|--------|-------------------------|------------------------|----------------|------------------|
| ニッケル | EC50 96h=1.84-1.961mg/L | LC50 96H1.3mg/L | — | EC50 48h=1mg/L |
| グラファイト | — | LC50 96h>100mg/l | — | — |
| ヘプタン | — | LC50 375.0mg/L 96h | — | EC50 >10mg/l 24h |
| アセトン | — | LC50 96h 4.74-6.33ml/l | EC50=14500mg/L | |

EC50 10294-17704mg/l, 48h

12.2.残留性・分解性：情報なし。

12.3. 生体蓄積性：この製品に関するデータはありません

12.4. 土壌中の移動性：情報なし。

その他の有害影響：情報なし

SECTION 13 - 廃棄上の注意

<焼却処理する。Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。又、Section 5 火災時処置 および Section 10 危険性情報を参照のこと。>

国及び地方自治体のすべての法規に準じて廃棄すること。地方自治体の要求は地域により大きく異なる場合がある。

SECTION 14 - 運送上の注意

<注意事項： Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。>

米国 DOT/IATA 及び IMDG における輸送規定

DOT: UN/ID No: 1950

名称：環境的に危険性がある液体（ヘプタン）海洋汚染

Hazard class: 2.1

Special provisions N82

Emergency Response Guide: # 126

IATA: UN/ID No:1950

名称：エアゾール，引火性

Hazard class: 2.1

Special provisions Guide# A145, A167, A802

IMDG: UN/ID No:1950

名称：エアゾール

Hazard class:2.1

Ems-No: F-D, S-U

Special provisions: 63, 190, 277, 327, 344,381, 959

SECTION 15 - その他の法律

日本：

<消防法> : 第4類 第1石油類

<毒物劇物取締法、高圧ガス取締法、船舶安全法、航空法> : 危険等級Ⅲ

<労働安全衛生法> : 第57条の1 名称表示すべき有害物質（ニッケル、ヘプタン）

有機溶剤中毒予防規定（該当なし）

第57条の2第1項 SDSの対象となる化学物質

ニッケル(別表9-418)

ヘプタン(別表9-527)

<廃棄物処理法> : 一般産業廃棄物

<PRTR法> : 第1種指定化学物質（ニッケル：政令番号308）

第2種指定化学物質（該当無し）

<水質汚濁防止法> ニッケル

その他

国際インベントリー

TSCA 準拠

DSL 準拠

TSCA - 米国有害物質規制法第8条(b)インベントリー

DSL - カナダ国内物質リスト

準拠 - 本製品の成分は、インベントリーに記載されているか、または記載が免除されています。有効

未記載 - 本製品の1つ以上の成分がインベントリーに記載されていません。

米国連邦規則

SARA 313

1986年スーパーファンド改正および再授權法（SARA）第3編第313条。本製品には、同法および連邦規則集第40編第372条の報告義務の対象となる化学物質が含まれています。

SARA 313 -- 連邦規則 Part 372 に準じたもの使用、SARA313 に規定されているものはない。

化学名 CAS 番号 SARA 313 - 閾値 %

| | | |
|------|-----------|-----|
| 銅 | 7440-50-8 | 1.0 |
| 酸化亜鉛 | 1314-13-2 | 1.0 |

SECTION 16 - その他情報

重要注意事項：

ここにある全ての記載事項、技術情報及び推薦項目は **Bostik** が信頼出来ると判断した情報ないし試験に基づいている。しかしながら、**Bostik** はこれらの正確性ないし完全性について保証はできない。従って当該品の購入者は使用前に独自にテストを実施して適切な技術上の準備の取り決めと使用目的への適応性を見極めるべきである。**Bostik** の当該品販売は **Bostik** の注文請書に記載される取引条件に限定される。要約すると、**Bostik** が保証するのは、当該品が当該品仕様書に合致しており、正規に使用されれば欠陥がないということである。この保証に反して欠陥が生じた場合の **Bostik** の唯一の責務は製品の交換である。**Bostik** は上記に言う交換を除き、直接的、間接的、経済的ないしその他一切の損害に対しては責任を負わない。

以上